

## 4. 減災対策協議会に関する取組

### 重点取組項目の取組支援について

令和4年5月30日

# 重点取組項目の取組支援について

## ■重点取組項目の設定について

- ・今後の減災対策協議会では、「要配慮者利用施設の避難確保計画の作成や避難訓練の実施」等を含む高齢者等避難の実効性確保(※)を重点取組として位置づけます。



(※)「高齢者等避難の実効性確保」は、流域治水協議会の取組の進捗状況の見える化を図る指標の1つ。

## ■重点取組項目の取組支援について

- ・重点取組項目については、各機関の重点取組項目に関する支援ニーズを把握したうえで、各機関のニーズに応じた取組支援の充実を図ります。
- ・そのうえで、各機関の重点取組項目のフォローアップと取組状況の情報共有を強化し、確実かつ実効性のある進捗確保を目指します。
- ・重点取組項目の具体的な取組支援ニーズを把握するにあたり、次ページ以降で、全国の関連する取組事例を紹介します。

# 重点取組項目「高齢者等避難の実効性の確保」の全国の取組事例の紹介

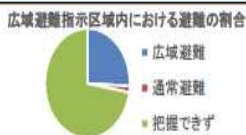
## ①バスを用いた広域避難訓練の実施(利根川上流河川事務所、加須市)

- 平成29年度から「利根川中流4県境広域避難協議会」で関係自治体と広域避難の在り方を協議し、高齢者等を優先して避難させるためにバスを用いた広域避難訓練を実施。(訓練成果を活かし、加須市では、令和元年台風第19号で実際にバスを用いた広域避難も実施)

### 利根川沿川の埼玉県加須市における広域避難

国土交通省  
2019/11/15 12時時点

台風第19号による利根川の出水において埼玉県加須市が01:00に避難指示を出し、約9,500人が避難し、そのうち約8,500人が広域避難(通常の避難先ではなく大規模浸水を想定した広域避難先への避難)を行った。



#### ■ 利根川の状況の連絡(ホットライン)

利根川上流河川事務所長が加須市長に、利根川の状況を電話で直接伝えるホットラインを24回実施(発着回数) 主要内容

- 計画規模(1/200)を越える雨量が予測されている、避難が夜中にかかりそうなので早めに電話した(15:49)
- 栗橋地点が計画高水位を超える恐れがある、広域避難を検討する必要がある(23:07)
- 堤防が最も低い箇所を超える恐れがある、加須市は広域避難を検討して下さい(00:47)

#### ■ 加須市の広域避難実施状況

##### ○避難周知

防災行政無線、エリアメール、SNS、Lアラート、消防車によるアナウンスの他、自治会長及び民生委員に電話して避難呼びかけを依頼

##### ○避難方法

市が広域避難用に用意したバス(10台(延べ15回輸送))、自家用車など

##### ○交通制御

避難する車で道路が渋滞したため、加須市が加須警察署に交通指導を依頼し、信号を手動操作してもらった



【参考】平成29年度に「利根川中流4県境広域避難協議会」を設置し、片田東京大学大学院特任教授の指導で広域避難のシナリオ案を検討中であった。また、加須市では、バスを用いた広域避難訓練を平成29年度から3回実施済みであった。

出典)利根川上流河川事務所HPより

### 加須市洪水避難訓練を実施します ～県外避難所への広域避難訓練を実施～

本市では、昨年全国で初めて大規模水害を想定し、北川辺地域及び大利根地域に避難準備・高齢者等避難開始等を発令し、災害時等応援協定を締結した民間バス会社の協力により浸水の恐れが少ない騎西地域の水害時避難所へ避難支援者等(自主防災組織、民生委員等)の協力を得て、災害時要援護者を優先して避難させる市内広域避難訓練を実施しました。

今回は、関東どまんなかサミット会議で締結した災害時応援協定に基づく広域避難所へ避難する県外広域避難訓練を全国で初めて実施します。

また、災害時における応援協定を締結している市内の民間企業(サンヨーメディカル)の協力を得て、逃げ遅れた市民を3階以上へ避難誘導する緊急避難訓練も実施します。

1 日時 平成30年6月17日(日)午前8時20分～午前11時頃

※雨天決行 ただし、被害等が予想される場合は中止

2 会場

- 県外広域避難訓練 群馬県板倉町(板倉東小学校)、第一中学校、赤麻小学校、赤麻
- 市内広域避難訓練 騎西地域(騎西総合体育館「ふ」※乗車場所…北川辺地域(開智未来中学・高等学校)
- 緊急避難誘導訓練 北川辺地域(北川辺西小学校) 大利根地域(大利根総合福祉会)

3 内容 県外広域避難訓練…市バスで県外避難所の場所を確認する

市内広域避難訓練…民間バスで避難所へ向かい避難所運営訓練を行う



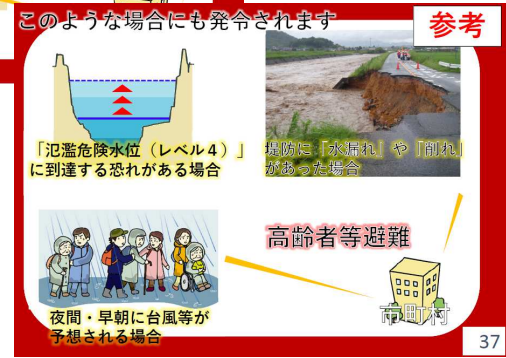
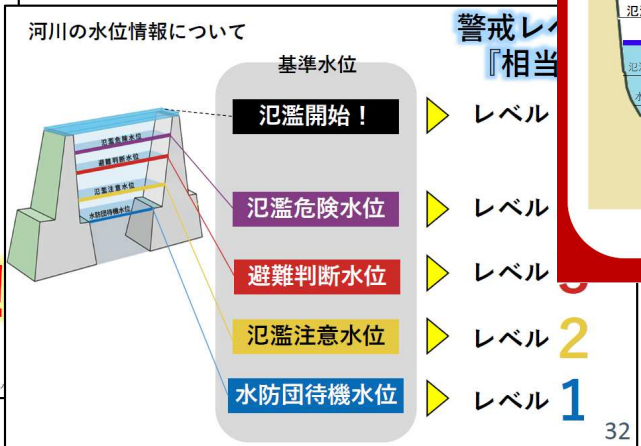
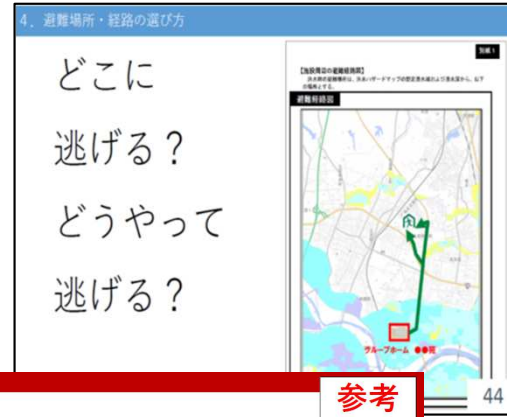
バスを利用した広域避難訓練

出典)加須市HPより



# ②自治体職員、施設職員向けの避難確保計画作成支援資料の作成 (富山河川国道事務所)

- ・富山河川国道事務所では、自治体職員や施設管理者向けに避難確保計画の作成支援資料を作成。
- ・避難確保計画の作成促進を目指し、自治体職員や施設管理者を対象に、河川の氾濫特性や、河川防災情報・避難情報の基礎知識の向上を目指した資料作成を行っている。



### ③要配慮者利用施設の浸水リスク情報の提供

(信濃川下流河川事務所)

・信濃川下流河川事務所では、管内の自治体から要配慮者利用施設の位置情報を収集し、直轄および県管理河川の浸水想定区域内の「施設ごとの浸水深、浸水継続時間等が自動表示される一覧表」を作成し、避難確保計画作成時の参考資料として提供

①別途に、施設No.に対応した施設リストを整理

施設浸水状況調書		要配慮者利用施設	
施設No.	1792	←“施設リスト(要配慮者利用施設)”シートから施設No.を確認して入力すると、各種項目が自動表示されます。施設No.は1818までです。	
施設名	須頃保育所	〇〇保育所	
市区町村	三条市	〇〇市	
所在地	下須頃1086-1		
緯度	37.651	地盤高[T.P.m] (25mメッシュ平均)	7.8
経度	138.949	施設地盤高[T.P.m] (あれば)	
施設地点の標高を入力すると、ピンポイントでの最大浸水深が得られます。			
浸水深ランク	0.0~0.5m 0.5~3.0m 3.0m~	浸水継続時間ランク	3日以上 (72時間以上)

②リストから施設No.入力すると自動で施設名、住所、緯度経度等が表示

該当する施設の浸水深、浸水継続時間などが自動で表示

対象河川	項目	数値等
信濃川下流	L2最大浸水深[m]	4.7
	L2最大浸水位[T.P.m]	12.5
	L2最大浸水深(ピンポイント)[m]	
	L1最大浸水深[m]	2.2
	L1最大浸水位[T.P.m]	10.0
	L1最大浸水深(ピンポイント)[m]	
	浸水継続時間[日]	5.5
中ノロ川	L2最大浸水深[m]	0.0
	L2最大浸水位[T.P.m]	
	L2最大浸水深(ピンポイント)[m]	
	L1最大浸水深[m]	0.0
	L1最大浸水位[T.P.m]	
	L1最大浸水深(ピンポイント)[m]	
	浸水継続時間[日]	0.0

対象河川	項目	数値等
信濃川下流	L2最大浸水深[m]	4.7
	L2最大浸水位[T.P.m]	12.5
	L2最大浸水深(ピンポイント)[m]	
	L1最大浸水深[m]	2.2
	L1最大浸水位[T.P.m]	10.0
	L1最大浸水深(ピンポイント)[m]	
	浸水継続時間[日]	5.5
五十嵐川	家屋倒壊(氾濫流)	○
	家屋倒壊(河岸侵食)	

出典)信濃川下流事務所の了承を得て掲載